

## 2 各教科等の指導におけるICT活用

学習指導要領に基づき、資質・能力の三つの柱をバランスよく育成するため、生徒や学校の実態に応じ、各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげることが重要です。

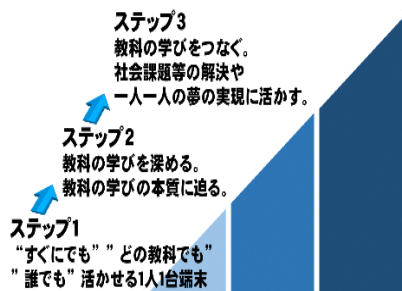
### ◆ GIGAスクール構想の実現

GIGAスクール構想により、1人1台端末環境の整備が急速に進んでおり、今後は、これらを活用しつつ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実していくことが求められています。

各学校においては、各教科等においてICT機器を積極的に活用し、これまでの実践と最適に組み合わせることにより、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進めることが大切です。

### ◆ 「1人1台端末」を活かした学びの変容

学習指導要領に基づき、これまでの教育実践の蓄積とICTを掛け合わせることで、「一斉学習」「個別学習」「協働学習」の分野において、学習活動の一層の充実、主



【1人1台端末・高速通信環境を活かした学びの変容のイメージ】

体的・対話的で深い学びの実現に向けた視点からの授業改善など、学びの深化が図られることが期待されています。

国では、1人1台端末を活かした学びを段階的に実現するために、各教科等の指導におけるICTの効果的な活用についての基本的な考え方や活用例を右のサイトに示しています。



### ◆ 各教科等の指導における1人1台端末の活用例

#### 【国語】

- 文章作成ソフトの校閲機能を活用し、文章を推敲する活動
  - ・下書きに対して友だちから助言された内容を参考にして、自分の考えがよりよく伝わる文章になるよう、校閲機能を用いて推敲する。

「一生の間、誰かに道を譲り続けても道を譲るために曲げた距離の合計は百歩にもならない」という言葉を教えてもらったことがある。・・・

生徒  
表現が分かりにくい。

友だちが  
気付いたことを友だちが入力

正確に紹介することで  
説得力を高めた。

友だちのコメントを読んで、さらに気付いた点を入力

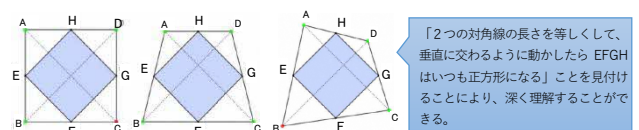
※二重下線：挿入した箇所

#### 【社会】

- 様々な資料やデータ等を活用し、課題解決する活動
  - ・タブレット端末等を使って、課題解決に向けた資料を収集する。
  - ・収集した情報のグラフ化や地図化、複数のデータの比較・統合等を行い、データを分析・解釈する。
  - ・分析結果を活用し、多面的・多角的に考察する。

#### 【数学】

- 図形の変化の様子を可視化し、新たな性質を見いだす活動
  - ・タブレット端末等を使って、試行錯誤しながら図形を操作し、直観的に図形の性質を見いだす。
  - ・見出した図形の性質を演繹的に説明する。



#### 【理科】

- 観察、実験の記録等を作成し、学級全体で共有して考察を深める活動
  - ・タブレット端末等を使って、観察、実験の記録を写真とともに学級全体で共有する。
  - ・記録したデータを用いて、レポートやプレゼンテーション資料などにまとめる。
  - ・学級全体で資料を共有し、観察、実験の記録等により深く考察する。

#### 【外国語】

- 画像データを活用し、即興でプレゼンテーションする活動
  - ・紹介する内容に関連した画像をタブレット端末等に保存する。
  - ・タブレット端末等に保存している画像を映し出しながら、即興で聞き手に分かりやすく説明する。

